

平時子(二位尼)

平清盛の後妻。娘徳子が高倉天皇の中宮となり、安徳天皇の外祖母に。清盛没後は一門の精神的支柱に。

たいらのときこ

中尊寺・・・1126 =

生。兵部権大輔平時信の娘。母は大膳大夫藤原家範かその子基隆の娘で令子内親王家の半物。_同母弟に平時忠・異母妹に建春門院滋子(後白河天皇の女御)がいる。

鳥羽院政始・1129 = 3歳 :

・・・・・・1135 = 9歳 :

・・・・・・1144 = 18歳 :

・・・・・・1146 = 20歳 : この頃, _清盛の後妻になり,
・・・・・・1147 = 21歳 : 宗盛,

・・・・・・1152 = 26歳 : 知盛,
・・・・・・1153 = 27歳 : _清盛が病のため出家すると, 時子も剃髪する。

頼長内覧停止1155 = 29歳 : 徳子(建礼門院),

保元の乱・1156 = 30歳 :

藤原基衡没・1157 = 31歳 : 重衡を生む。

平治の乱・1159 = 33歳 :

・・・・・・1162 = 36歳 :

清盛太政大臣1167 = 41歳 :

平徳子入内・1171 = 45歳 : *娘の徳子が高倉天皇の中宮となると, 従二位に叙されて, 二位尼と呼ばれる。

・・・・・・1178 = 52歳 : _徳子が言仁親王を生み,

源氏一斉蜂起1180 = 54歳 : *親王が即位して安徳天皇となると, 時子は天皇外祖母となり, 清盛とともに准三後の宣旨をうける。

平清盛没・1181 = 55歳 : _清盛の死去後, 宗盛が家督を継いだ, 源氏の追討をうけ,

後鳥羽天皇・1183 = 57歳 : _安徳天皇を擁して都落ちし, 西海を流浪,

平氏滅亡・1185 = 59歳 : *壇ノ浦で8歳の安徳天皇を抱いて入水した。